

令和8年度 予算提案説明

次に、施政方針に基づきます令和8年度当初予算案について提案説明を申し上げます。

まず、一般会計予算についてでございます。

本市におきましては、国の動向を踏まえつつ、事業の徹底的な見直し、財源の一層の確保、基金の精査と整理の検討など、歳入準拠の予算編成に努めましたが、物価や人件費の高騰、扶助費の増加などの社会情勢の変動に伴い、令和8年度当初予算は過去最大の予算規模となりました。

まず、一般会計予算の総額は、552億2,757万1千円で、前年度比18億1,173万5千円、3.4%の増となっております。

次に、各種事業を賄う財源でございますが、特定財源は、国庫支出金、県支出金、市債などで、前年度よりも2.1%増の220億848万6千円を見込んでおり、特定財源の構成比は、前年度よりも0.5ポイント減の39.9%となっております。

また、地方債依存度につきましては、前年度よりも1.4ポイント増の8.9%となっております。

次に、年度末地方債現在高につきましては、531億2,885万2千円となり、前年度より、3億8,385万3千円、0.7%増加するものと見込んでおります。

次に、一般財源でございますが、市税につきましては、前年度比5億865万1千円、2.5%増の208億9,393万6千円を見込んでおります。

地方交付税につきましては、前年度比6,200万円、1.1%減の54億200万円を見込んでおり、市税と地方交付税を合わせますと、前年度よりも4億4,665万1千円の増となっております。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金3億1,937万1千円、減債基金繰入金4億円などを計上いたしております。

これらによりまして、一般財源総額は、前年度よりも13億5,986万3千円、4.3%増の332億1,908万5千円、構成比は60.1%となっております。

以上が一般会計予算の概要でございます。

次に、特別会計につきましては、渡海船事業、平尾墓園事業、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業の5会計、また企業会計につきましては、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業の3会計につきまして、それぞれの事業に要します事業費、事務費について、特別会計で、282億2,083万7千円、企業会計で、125億7,783万2千円を措置いたしております。

以上で令和8年度当初予算の説明を終わります。